2025年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月14日

上場会社名　株式会社エアークローゼット　　上場取引所　東
コード番号　9557　URL https://corp.air-closet.com/
代表者　（役職名）代表取締役社長兼CEO　（氏名）天沼　聰
問合せ先責任者　（役職名）執行役員　社長室長　（氏名）森本　奈央人　TEL 03-6452-8654
配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　有
決算説明会開催の有無　：　有

（百万円未満切捨て）

1. 2025年6月期第1四半期の業績（2024年7月1日～2024年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第1四半期	1,145	20.5	65	743.4	61	1,517.3	60	1,572.3
2024年6月期第1四半期	950	12.1	7	―	3	―	3	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第1四半期	7.43	7.39
2024年6月期第1四半期	0.44	0.44

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第1四半期	2,772	573	20.4
2024年6月期	2,710	510	18.6

（参考）自己資本　2025年6月期第1四半期　566百万円　2024年6月期　505百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2025年6月期	―				
2025年6月期（予想）		0.00	―	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2025年 6月期の業績予想（2024年 7月 1日～2025年 6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,818	14.3	32	―	12	―	10	―	1.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 有

④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年6月期1Q	8,199,400 株	2024年6月期	8,199,400 株
② 期末自己株式数	2025年6月期1Q	― 株	2024年6月期	― 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年6月期1Q	8,199,400 株	2024年6月期1Q	8,197,156 株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー ： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2024年11月15日（金）に決算説明会の開催を予定しており、当日使用する決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。その模様及び説明内容（動画）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第１四半期累計期間 …… 6
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 7
（会計上の見積りの変更） …… 7
（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当社は、「“ワクワク”が空気のようにあたりまえになる世界へ」をビジョンに掲げ、人々のライフスタイルが豊かになるサービスの提供を行っております。パーソナルスタイリングの要素を強みとした主軸の月額制ファッションレンタルサービス「airCloset」に加え、家具・家電を購入前にレンタルできるメーカー様公認の月額制レンタルモール「airCloset Mall」を展開しております。これらのサービス展開においてはモノの出荷だけではなく、返却、メンテナンスといったオペレーションが重要となるため、当社はこれまで循環型の物流プラットフォームの改善、磨きこみを継続してまいりました。

2023年10月には当該物流プラットフォームを活用した都度課金型の新しい取り組みである「Disney FASHION CLOSET」をスタートしており、まずは認知拡大に努めています。

また、循環型物流プラットフォームを、自社利用だけでなく、他の企業様にご活用頂く取り組みも推進しており、レンタルサービスにおける受託が２件、店頭試着等でわずかに汚れや傷が付いた傷物商品等の再商品化業務を１件受託しております。今後も継続して企業様向けの取り組みについても推進してまいります。

上記に加えて、当社はサステナビリティの観点から転換が求められるファッション業界において、サーキュラーエコノミーを実現する企業としても事業推進を行っております。2022年には自社サービス内における衣服の廃棄ゼロを実現しています。また、アパレル販売員向け衣服シェアリングの取り組みの本格始動や、レンタル提供を終了した洋服を販売するサステナブルな販売会「エコセール」を企業連携企画に拡大するなどの動きを行っております。

当第１四半期累計期間においては、脱コロナによる人流の増加、経済活動の正常化が進む一方、世界における情勢不安、資源価格の高騰や為替変動による物価の上昇など、景気の先行きについては不透明な状況が続いています。また、ファッション業界においては、記録的な猛暑の影響が大きく、秋に会員数が増加しやすい当社サービスにおいても、新規会員登録の面でネガティブな影響を受ける期間となりました。

このような状況の中、airClosetサービスにおいては前期から続く継続率の改善等により、安定した会員数の伸びを実現しております。収益性の改善も順調に進み、ベトナムにおけるシステム開発子会社の稼働開始などの投資も行いながら、営業利益の改善を図っております。

これらの結果、当第１四半期累計期間の業績は、売上高1,145,038千円（前年同四半期比20.5％増）、EBITDA（営業利益＋レンタル用資産償却費＋減価償却費＋レンタル用資産売却等に伴う原価振替額）256,451千円（前年同四半期比42.0％増）、営業利益65,741千円（前年同四半期比743.4％増）、経常利益61,115千円（前年同四半期比1,517.3％増）、四半期純利益60,962千円（前年同四半期比1,572.3％増）となりました。

なお、当社は、パーソナルスタイリング事業のみの単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第１四半期会計期間末における流動資産は1,818,001千円となり、前事業年度末に比べ92,261千円減少しました。これは主に、短期借入金の返済等により現金及び預金が146,509千円減少したことによるものであります。固定資産は954,392千円となり、前事業年度末に比べ154,167千円増加しました。これは主に、月額会員数の増加に応じて、必要在庫数が増加したことに伴いレンタル用資産が52,744千円増加したこと、倉庫移転に伴い建設仮勘定が75,636千円増加したことによります。

この結果、総資産は2,772,393千円となり、前事業年度末に比べ61,906千円増加しました。

（負債）

当第１四半期会計期間末における流動負債は1,212,320千円となり、前事業年度末に比べ1,226千円減少しました。これは主に、レンタル用資産の仕入等により買掛金が108,211千円増加した一方で、短期借入金の返済により短期借入金が161,250千円減少したことによります。固定負債は前事業年度末と同様に986,781千円となりました。

この結果、負債合計は2,199,101千円となり、前事業年度末に比べ1,226千円減少しました。

（純資産）

当第１四半期会計期間末における純資産は573,292千円となり、前事業年度末に比べ63,132千円増加しました。これは、主に四半期純利益計上による利益剰余金の増加60,962千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は20.4％となりました。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年６月期の業績予想につきましては、2024年８月14日に「2024年６月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

２．四半期財務諸表及び主な注記

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （2024年６月30日）	当第１四半期会計期間 （2024年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,454,526	1,308,016
売掛金	365,462	319,946
商品	17,785	22,601
貯蔵品	13,046	9,464
前払費用	39,255	40,407
その他	25,162	122,184
貸倒引当金	△4,975	△4,619
流動資産合計	1,910,263	1,818,001
固定資産		
有形固定資産		
レンタル用資産（純額）	542,030	594,775
機械装置（純額）	57,651	54,831
建設仮勘定	－	75,636
工具、器具及び備品（純額）	8,185	8,492
その他（純額）	4,344	4,254
有形固定資産合計	612,212	737,989
無形固定資産		
ソフトウエア	766	622
無形固定資産合計	766	622
投資その他の資産		
敷金	157,245	157,245
関係会社株式	－	28,533
その他	30,000	30,000
投資その他の資産合計	187,245	215,779
固定資産合計	800,224	954,392
資産合計	2,710,487	2,772,393

（単位：千円）

	前事業年度 （2024年６月30日）	当第１四半期会計期間 （2024年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	136,367	244,579
短期借入金	417,322	256,072
１年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払金	148,216	202,644
未払費用	22,486	18,628
未払法人税等	530	132
前受金	190,433	212,893
預り金	31,894	35,379
契約負債	20,111	17,731
その他	46,183	24,258
流動負債合計	1,213,546	1,212,320
固定負債		
長期借入金	960,000	960,000
資産除去債務	20,704	20,704
その他	6,076	6,076
固定負債合計	986,781	986,781
負債合計	2,200,327	2,199,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,251	50,251
資本剰余金	862,232	862,232
利益剰余金	△407,387	△346,424
株主資本合計	505,096	566,059
新株予約権	5,063	7,233
純資産合計	510,159	573,292
負債純資産合計	2,710,487	2,772,393

（２）四半期損益計算書

（第１四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　2023年７月１日 至　2023年９月30日）	当第１四半期累計期間 （自　2024年７月１日 至　2024年９月30日）
売上高	950,336	1,145,038
売上原価	483,468	559,916
売上総利益	466,867	585,121
販売費及び一般管理費	459,072	519,380
営業利益	7,795	65,741
営業外収益		
受取利息	6	132
雑収入	564	－
営業外収益合計	571	132
営業外費用		
支払利息	4,587	4,758
営業外費用合計	4,587	4,758
経常利益	3,778	61,115
税引前四半期純利益	3,778	61,115
法人税等	133	152
四半期純利益	3,645	60,962

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第１四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計上の見積りの変更）

（耐用年数の変更）

当社が保有するレンタル用資産は、従来、耐用年数を18ヵ月として減価償却を行ってきましたが、レンタル用資産の利用期間実績が伸長していることを踏まえ、当第１四半期会計期間より、耐用年数を24ヵ月に見直し、将来にわたり変更しております。これにより、従来の方法に比べて、当第１四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ46,601千円増加しております。

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）の償却額は、次のとおりであります。

	前第１四半期累計期間 （自　2023年７月１日 至　2023年９月30日）	当第１四半期累計期間 （自　2024年７月１日 至　2024年９月30日）
減価償却費	124,464千円	104,079千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社の事業セグメントは、パーソナルスタイリング事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。